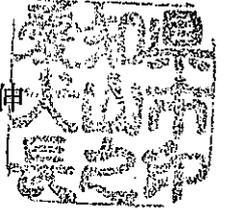


令和6年8月19日

犬山市国民健康保険運営協議会

会 長 玉 置 幸 哉 様

犬 山 市 長 原 欣 伸



## 犬山市国民健康保険税の税率等の改定について（諮問）

犬山市国民健康保険運営協議会規則第2条の規定に基づき、下記の諮問事項について貴運営協議会の意見を求めます。

記

### 【諮問事項】

- 1 国民健康保険税率等の改定について

# ◆税率改定と激変緩和策のシミュレーション（毎年見直し）

年度	税率改定	①本来必要な課税総額	②子ども子育て支援金分	③ ①+②	④予定 収納率	⑤本来必要な 収納総額 ③×④	⑥ ⑤の 増加率 (前年比 較)	⑦各年度の課税総 額 (=調定額)	⑧各年度の収納 総額 ⑦×④	⑨ ⑧の 前年比較	⑩ ⑦の 増税率 (前年比 較)	⑪収納不足額 ⑤-⑧	うち 基金 補てん額	うち 一般会計 繰入額
R7	R6税率のまま、R7を課税した場合のシミュレーション値							1,271,504,000						
	増税 予定	1,400,000,000		1,400,000,000	94.0%	1,316,000,000		1,354,152,000	1,272,902,880		106.5%	43,097,120	35,000,000	8,097,120
R8	増税 予定	1,468,000,000	36,000,000	1,504,000,000	94.0%	1,413,760,000	107.4%	1,442,172,000	1,355,641,680	82,738,800	106.5%	58,118,320	52,000,000	6,118,320
R9	増税 予定	1,538,000,000	43,000,000	1,581,000,000	94.0%	1,486,140,000	105.1%	1,535,914,000	1,443,759,160	88,117,480	106.5%	42,380,840	38,000,000	4,380,840
R10	増税 予定	1,610,000,000	57,000,000	1,667,000,000	94.0%	1,566,980,000	105.4%	1,635,749,000	1,537,604,060	93,844,900	106.5%	29,375,940	25,000,000	4,375,940
R11	増税 予定	1,686,000,000	57,000,000	1,743,000,000	94.0%	1,638,420,000	104.6%	1,743,000,000	1,638,420,000	100,815,940	106.5%	0		0
※基金現在高：現在約2億6千万円、R6年度で7千万円取り崩し、今年度に前年度の余剰約1億円を積み戻すと残額は約2億9千万円。このうち、1億5千万円を激変緩和に使用。										合計 (R7～11)	172,972,220	150,000,000	22,972,220	

※R7年度については被保険者数減少を勘案。それ以降については減少は見込まず。

## ◆税率改定周期を変えた場合のシミュレーション

## (1) 毎年税率を見直す場合

年度	課税総額	増加率	収納不足額	うち基金 補てん額	うち一般会計 繰入額
R7	1,354,152,000	6.5%	43,097,120	35,000,000	8,097,120
R8	1,442,172,000	6.5%	58,118,320	52,000,000	6,118,320
R9	1,535,914,000	6.5%	42,380,840	38,000,000	4,380,840
R10	1,635,749,000	6.5%	29,375,940	25,000,000	4,375,940
R11	1,743,000,000	6.5%			0
計			172,972,220	150,000,000	22,972,220

## (2) 隔年で税率を見直す場合

年度	課税総額	増加率	収納不足額	うち基金 補てん額	うち一般会計 繰入額
R7	1,354,152,000	6.5%	43,097,120	35,000,000	8,097,120
R8	1,489,043,000	10.0%	50,249,580	45,000,000	5,249,580
R9	1,489,043,000	0.0%	50,249,580	45,000,000	5,249,580
R10	1,689,374,500	13.5%	14,687,970	12,500,000	2,187,970
R11	1,689,374,500	0.0%	14,687,970	12,500,000	2,187,970
計			172,972,220	150,000,000	22,972,220

## (3) 3年に一度税率を見直す場合

年度	課税総額	増加率	収納不足額	うち基金 補てん額	うち一般会計 繰入額
R7	1,354,152,000	6.5%	43,097,120	35,000,000	8,097,120
R8	1,537,945,000	13.6%	43,291,700	38,333,333	4,958,367
R9	1,537,945,000	0.0%	43,291,700	38,333,333	4,958,367
R10	1,537,945,000	0.0%	43,291,700	38,333,334	4,958,366
R11	1,743,000,000	13.3%	0	0	0
計			172,972,220	150,000,000	22,972,220

# ◆税率改定と激変緩和策のシミュレーション（隔年見直し）

年度	税率改定	①本来必要な課税総額	②子ども子育て支援金分	③ ①+②	④予定 収納率	⑤本来必要な 収納総額 ③×④	⑥ ⑤の 増加率 (前年比 較)	⑦各年度の課税総 額 (=調定額)	⑧各年度の収納 総額 ⑦×④	⑨ ⑧の 前年比較	⑩ ⑦の 増税率 (前年比 較)	⑪収納不足額 ⑤-⑧	うち 基金 補てん額	うち 一般会計 繰入額
R7	R6税率のまま、R7を課税した場合のシミュレーション値							1,271,504,000						
	増税 予定	1,400,000,000		1,400,000,000	94.0%	1,316,000,000		1,354,152,000	1,272,902,880		106.5%	43,097,120	35,000,000	8,097,120
R8		1,468,000,000	36,000,000	1,504,000,000	94.0%	1,413,760,000	107.4%	1,442,172,000	1,355,641,680	82,738,800	106.5%	58,118,320	52,000,000	6,118,320
R9		1,538,000,000	43,000,000	1,581,000,000	94.0%	1,486,140,000	105.1%	1,535,914,000	1,443,759,160	88,117,480	106.5%	42,380,840	38,000,000	4,380,840
合計		3,006,000,000	79,000,000	3,085,000,000	94.0%	2,899,900,000		2,978,086,000	2,799,400,840	170,856,280		100,499,160	90,000,000	10,499,160
R8.9		1,503,000,000	39,500,000	1,542,500,000	94.0%	1,449,950,000	110.2%	1,489,043,000	1,399,700,420	126,797,540	110.0%	50,249,580	45,000,000	5,249,580
R10		1,610,000,000	57,000,000	1,667,000,000	94.0%	1,566,980,000	105.4%	1,635,749,000	1,537,604,060	93,844,900	106.5%	29,375,940	25,000,000	4,375,940
R11		1,686,000,000	57,000,000	1,743,000,000	94.0%	1,638,420,000	104.6%	1,743,000,000	1,638,420,000	100,815,940	106.6%	0		0
合計		3,296,000,000	114,000,000	3,410,000,000	94.0%	3,205,400,000		3,378,749,000	3,176,024,060	194,660,840		29,375,940	25,000,000	4,375,940
R10.11		1,648,000,000	57,000,000	1,705,000,000	94.0%	1,602,700,000	110.5%	1,689,374,500	1,588,012,030	188,311,610	113.5%	14,687,970	12,500,000	2,187,970
※基金現在高：現在約2億6千万円、R6年度で7千万円取り崩し、今年度に前年度の余剰約1億円を積み戻すと残額は約2億9千万円。このうち、1億5千万円を激変緩和に使用。										合計 (R7~11)		172,972,220	150,000,000	22,972,220

※R7年度については被保険者数減少を勘案。それ以降については減少は見込まず。

# ◆税率改定と激変緩和策のシミュレーション（3年見直し）

年度	税率改定	①本来必要な課税総額	②子ども子育て支援金分	③ ①+②	④予定 収納率	⑤本来必要な 収納総額 ③×④	⑥ ⑤の 増加率 (前年比 較)	⑦各年度の課税総 額 (=調定額)	⑧各年度の収納 総額 ⑦×④	⑨ ⑧の 前年比較	⑩ ⑦の 増税率 (前年比 較)	⑪収納不足額 ⑤-⑧	うち 基金 補てん額	うち 一般会計 繰入額
R7	R6税率のまま、R7を課税した場合のシミュレーション値							1,271,504,000						
	増税 予定	1,400,000,000		1,400,000,000	94.0%	1,316,000,000		1,354,152,000	1,272,902,880		106.5%	43,097,120	35,000,000	8,097,120
R8		1,468,000,000	36,000,000	1,504,000,000	94.0%	1,413,760,000	107.4%	1,442,172,000	1,355,641,680	82,738,800	106.5%	58,118,320	52,000,000	6,118,320
R9		1,538,000,000	43,000,000	1,581,000,000	94.0%	1,486,140,000	105.1%	1,535,914,000	1,443,759,160	88,117,480	106.5%	42,380,840	38,000,000	4,380,840
R10		1,610,000,000	57,000,000	1,667,000,000	94.0%	1,566,980,000	105.4%	1,635,749,000	1,537,604,060	93,844,900	106.5%	29,375,940	25,000,000	4,375,940
合計		4,616,000,000	136,000,000	4,752,000,000		4,466,880,000		4,613,835,000	4,337,004,900			129,875,100	115,000,000	14,875,100
R8~10		1,538,666,667	45,333,333	1,584,000,000	94.0%	1,488,960,000	113.1%	1,537,945,000	1,445,668,300	172,765,420	113.6%	43,291,700	38,333,333	4,958,367
R11	増税 予定	1,686,000,000	57,000,000	1,743,000,000	94.0%	1,638,420,000	104.6%	1,743,000,000	1,638,420,000	100,815,940	113.3%	0	0	0
※基金現在高：現在約2億6千万円、R6年度で7千万円取り崩し、今年度に前年度の余剰約1億円を積み戻すと残額は約2億9千万円。このうち、1億5千万円を激変緩和に使用。										合計 (R7~11)		172,972,220	150,000,000	22,972,220

※R7年度については被保険者数減少を勘案。それ以降については減少は見込まず。

## データヘルス計画全体の評価

## 評価判定

A(順調): 計画策定時の値より改善しており、計画終了時に目標値を達成するペースのもの  
 B(改善): 計画策定時の値より改善しているが、計画終了時に目標値に達しないペースのもの  
 C(悪化): 計画策定時の値よりも悪化しているもの  
 D(評価困難): 設定した指標または把握方法が異なる等の理由により評価が困難であるもの

策定時の健康課題	策定時の目的・目標	目標		評価判定						目的・目標の達成状況		
		指標	目標値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	達成に繋がる取組・要素	未達成に繋がる背景・要因	
1. 健康管理意識の向上	1. 生活習慣病の予防や早期発見のため、特定健康診査や特定保健指導の受診率、終了率を向上させる。	特定健康診査受診率(%)	50	39.3	38.5	40.4	40.6	41.6	40.0	B	令和2年度に若干の改善がみられ、AI分析に基づく受診勧奨の効果ではないかと考える。	40～50歳代の受診率が低いことが大きな要因となっている。
2. メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少。	2. 特定保健指導を通じて、リスク保有者、メタボ該当者、予備群対象者を減少させる。	メタボ該当者率(%) ※目標値を下回ること	18	18.0	19.5	20.9	21.1	21.3	20.9	C		・年齢とともにメタボ該当者率(予備率)の割合が増えており、若い頃から適正体重維持、食生活・運動の習慣化のための啓発や環境整備等の対策が必要である。
		メタボ予備群率(%) ※目標値を下回ること	10.5	10.5	11.1	11.0	11.0	11.3	11.8	C		
3. 生活習慣病の重症化予防の強化。	3. 糖尿病性腎症の重症化を予防し、人工透析治療への移行を遅らせる。また、糖尿病の慢性合併症の一つである糖尿病網膜症の早期発見、早期治療に繋げるため糖尿病眼科検診の受診促進を図る。	糖尿病重症化予防対象者の健診受診率(%)	70	57.5	61.8	55.9	72.7	62.9	50.0	C	保健師による対象者へのアプローチや、医療機関との連携がよいため翌年度の受診へとつながっている。	
		糖尿病眼科検診の受診率(%)	60	39.2	48.3	55.1	49.7	50.0	44.0	B		現在、すでに病院を受診しているため、眼科検診は必要ないケースが見受けられる。
4. 一人あたりの医療費が年々増加傾向にあり、ジェネリック医薬品使用割合も国基準未達成。	4. 医療費を縮小するため、ジェネリック医薬品の利用を促す。適正受診・適正服薬への取組を行う。	後発医薬品の数量シェア(%)	80	73.1	77.2	80.2	81.1	81.8	83.1	A	通知の効果として目標が達成されている。	

資料

データヘルス計画最終評価 個別事業評価

評価判定  
 A(順調): 計画策定時の値より改善しており、計画終了時に目標値を達成するペースのもの  
 B(改善): 計画策定時の値より改善しているが、計画終了時に目標値に達しないペースのもの  
 C(悪化): 計画策定時の値よりも悪化しているもの  
 D(評価困難): 設定した指標または把握方法が異なる等の理由により評価が困難であるもの

No.	事業名	目的・対象・内容		アウトプット	指標	目標値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価判定(A~D)	成功要因 (プロセス・ストラクチャーの観点から)	未達成要因 (プロセス・ストラクチャーの観点から)
				アウトカム											
1	特定健康診査	目的	生活習慣病の予防と早期発見	アウトプット	対象者への受診券送付率	100	100	100	100	100	100	100	A	令和2年度に若干の改善がみられ、AI分析に基づく受診勧奨の効果ではないかと考える。	40~50歳代の受診率が低いことが大きな要因となっている。
		対象	40歳~74歳の国民健康保険被保険者	アウトプット											
		内容	メタボリックシンドロームに着目した検査項目での健康診査を実施する。	アウトカム	健診受診率	50.0	39.3	38.5	40.4	40.6	41.6	40.0	B		
2	受特定健診	目的	特定健診受診率は愛知県と比較して高いが年々受診率が減少しているため、受診者を増やし、生活習慣病、メタボリックシンドロームの発症・重症化を予防する。	アウトプット	対象者通知実施率	100	100	100	100	100	100	100	A	令和2年度から事業者へ委託し、AI分析に基づく勧奨通知を行い効果がみられた。	
		対象	健診未受診者	アウトプット											
		内容	受診勧奨はがきを送付。年度内1回実施(10月)	アウトカム	受診勧奨者の受診率	25.0	11.9	12.2	19.8	23.6	22.5	26.6	A		
3	費用助成 国保脳検診	目的	脳疾病の早期発見・早期治療を進め、健康意識の向上により疾病の発症・重症化を予防する。	アウトプット	申込者の受診率	80.0	34.0	41.7	66.8	68.4	83.2	84.2	A	申込者数が平成30年度で1500名程度いたのが、令和4年度は600名程度と半分以下となっている。それに対して受診者数は500名前後と変動が少ないため受診率が上昇した。	委託している医療機関での結果について郵送で結果送付となっているため、その後の精密検査や治療へのつながりが難しい。
		対象	40歳以上の国民健康保険被保険者で国保税の滞納がない人、過去3年間に助成を受けていない人	アウトプット											
		内容	対象者へ通知して応募受付、検診は総合犬山中央病院、あいせほね病院に委託し、結果通知を病院から送付。	アウトカム	要治療者の医療機関(脳関係)受診率	80.0	73.3	65.2	28.6	14.3	44.4	42.9	C		
4	健康診査 39歳以下	目的	若い頃から健康管理を意識し健診を受けることで生活習慣病の早期発見、早期治療につなげる。	アウトプット	受診者数	280	159	194	79	110	144	136	C	新型コロナウイルスの影響を受け、R1年度に増加した受診者数は翌年度に半数以下に減少、徐々に回復しつつある。 R4より電子申請受付開始。	実施日や健診項目、周知方法の見直しを行ってきたが、受診者数は低迷している。
		対象	18歳~39歳の市民のうち、健診を受ける機会のない人	アウトプット	指導率	70	68.1	51.5	54.1	57.8	69.4	63.3	C		
		内容	身体計測、問診、血圧測定、尿検査、貧血検査、肝機能検査、脂質検査、糖代謝検査、歯科健診、(希望者:骨密度チェック)	アウトカム	数値改善率	60	45.2	33.3	55.9	37.5	33.3	28.6	C		
5	がん検診	目的	がんの早期発見と早期治療を進め、健康意識の向上によりがんの発症・重症化を予防する。	アウトプット	受診率 胃がん	25.0	12.5	12.4	7.6	11.1	12.0	13.6	B	精密検査受診率の向上のために、精密検査を受診できる医療機関一覧を作成し、対象者に配布している。 周知については、特定健診の受診票郵送時の説明文にがん検診の情報の掲載している。 R4より電子申請受付開始。	受診率の低い女性のがんについては、実施医療機関の数も影響していると思われるので、令和4年度から江南厚生病院とさくら総合病院でも受診できるようにした。
		受診率 大腸がん	25.0	19.3	18.9	18.8	19.1	20.7	20.2	B					
		受診率 肺がん	25.0	21.0	20.2	21.3	21.0	21.2	24.1	B					
		受診率 子宮頸がん	25.0	13.9	13.3	12.4	12.9	13.7	14.6	B					
		受診率 前立腺がん	25.0	24.1	24.2	25.0	24.8	28.3	23.6	C					
		受診率 乳がん	25.0	18.6	18.1	18.1	19.3	20.4	22.0	B					
		精密検査の受診勧奨率	100	100	100	100	100	100	100	A					
内容	①集団及び尾北医師会内委託医療機関27か所における個別受診方式で各種がん検診を実施。 ②胃がんリスク検診は事前に市民健康館にて申し込みの上、尾北医師会内委託医療機関21か所にて血液検査を実施。	アウトカム	精密検査受診率	90	88.1	87.1	88.5	84.3	88.7	87.8	C				
6	生活習慣病リスク者の生活習慣や健康状態の改善を図るために保健指導を実施し、健康意識の向上、生活習慣病の発症・重症化を予防する。	目的	生活習慣病リスク者の生活習慣や健康状態の改善を図るために保健指導を実施し、健康意識の向上、生活習慣病の発症・重症化を予防する。	アウトプット	実施(完了)率	33.5	16.0	17.0	22.7	17.4	15.6	15.2	C	・新型コロナウイルス感染症の流行によりR2から集団指導を中止し、個別指導を実施している。	・健診から通知まで期間が空いてしまう

No.	事業名	目的・対象・内容		アウトプット	指標	目標値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価判定(A~D)	成功要因 (プロセス・ストラクチャーの観点から)	未達成要因 (プロセス・ストラクチャーの観点から)
				アウトカム											
6	特定保健指導	対象	特定健診結果より階層化（動機付け支援、積極的支援）により抽出された人（高血圧、糖尿病、脂質異常症で服薬中の者を除く）											導のみとした。個々の健診結果や生活背景を考慮し、目標設定までしっかりと時間をかけて面談している。また対象者に合わせた行動変容へ導く資料提供を行っている。 ・特定保健指導対象者向けの運動講座を開催し、希望者に具体的な運動指導を行っている。	ため、本人の危機感や興味が低くなってしまふ。 ・コロナ禍により訪問指導や、外出に抵抗のある方も一定数いる。 ・マンパワーの問題もあり、電話や訪問による勧奨が十分に出来ていない。
		内容	グループ支援を中心に実施し、希望に応じて個別支援で対応。実施期間は通年。	アウトカム	参加者の生活習慣 食事	40	33.0	39.3	35.5	70.4	61.8	67.1	A		
				アウトカム	参加者の生活習慣 運動	40	20.5	19.7	30.3	67.9	61.8	46.3	A		
				アウトカム	翌年度健診データ	40	35.2	40.7	25.8	23.3	25.4	21.6	C		
7	糖尿病性腎症重症	目的	糖尿病性腎症が重症化することを防止し、新規人工透析患者の減少を目指す。	アウトプット	受診勧奨率	100	81.8	100	100	100	100	100	A	糖尿病未治療者への受診勧奨は、電話や通知ではなく保健師等による直接訪問により、本人や家族と面談し受診勧奨を行うことができている。	・腎機能の指標となるeGFR値については血糖の他に高血圧の影響も大きく受けるため、糖尿病と併せて高血圧への対応も必要と考えられる。 ・糖尿病治療中であるが、血糖コントロールが不良者への保健指導は原則医師からの依頼がない場合は行っていない。
		対象	特定健康診査の結果から糖尿病性腎症のリスクの高い者で、糖尿病未治療の者。												
		内容	厚生労働省の示す「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を基に犬山市独自の対象者基準を設け、糖尿病未治療者の受診勧奨・保健指導を実施する。	アウトカム	治療継続率	100	88.2	100	100	100	100	58.3	C		
				アウトカム	健診受診率	70	57.5	61.8	55.9	72.7	62.9	50.0	C		
				アウトカム	C K D重症度 (eGFR・尿蛋白区 HbA1cの維持率)	100	100	95.0	100	91.7	81.8	53.8	C		
				アウトカム		95	62.5	80.0	88.9	91.7	64.3	94.4	B		
8	糖尿病眼科検診	目的	糖尿病の慢性合併症の一つである糖尿病網膜症は他の全身合併症により早く発症する可能性があり、かつ成人の失明原因の上位にあるため、早期発見し適切な治療をすることにより、進行を抑制し、失明を防ぐ。	アウトプット	受診率	60	39.2	48.3	55.1	49.7	50.0	44.0	B	通知の効果として目標が達成されている。	現在、すでに病院を受診しているため、眼科検診は必要ないケースが見受けられる。そのような方には無理して受けていただいていない。眼科検診受診者にその場で説明、指導、助言等を行っているが、実際に通院につながらない。
		対象	前年度特定健診受診者のうち、空腹時血糖126mg/dl以上、またはHbA1c7.0以上で治療をしていない人												
		内容	問診、検査（視力検査、精密眼底検査、眼圧検査、細隙灯顕微鏡検査（前眼部及び鞏丸部）	アウトカム	眼科受診率	90	75.0	77.8	68.8	75.0	66.7	57.1	C		
9	医薬品使用促進	目的	後発医薬品（ジェネリック）の普及率を向上させ、医療費の抑制につなげる。	アウトプット	対象者通知率	100	100	100	100	100	100	100	A	通知の効果として目標が達成されている。	
		内容	後発医薬品（ジェネリック）への切替により500円以上差額がある被保険者。個別通知書を送付。通知予定数は約400人	アウトカム	数量シェア	80.0	73.1	77.2	80.2	81.1	81.8	83.1	A		
10	健康マイレージ事業	目的	第2次いぬやま健康プラン21計画に基づき、市民がそれぞれの年代においてできる健康づくりを自ら積極的に取り組み、生涯にわたり自分らしい生活を送ることができるよう環境の整備を図る。	アウトプット	参加者数	320	380	515	134	168	198	179	C	・R2よりポイントを貯める方法として健康への取組の継続が必要となっている。 また、応募用のポイントシートには、カレンダー形式の記録表に健康づくりの記録ができ、自然と健康づくりの習慣化につながっていると考えられる。 ・応募方法として、窓口の他、郵送、FAX、メールを追加した。	チャレンジポイントシートは基本公共施設の窓口等に取りにいかないといけないため、手間となってしまっている。
		対象	18歳以上の市民												
		内容	必須項目：市や会社で実施されている健康診断や各種がん検診等の受診 選択項目：健康づくりに関連した講座等への参加、健康への取組みを実施し、50ポイント集めると、県内の協力店舗で割引サービス等を受けることが出来るカード「まいか」と交換。さらに平成28年度より抽選で賞品を進呈。	アウトカム	健康づくりの習慣化の割合	100	-	-	95	60	100	99	B		
				アウトカム	59歳以下の参加率	45	42.9	52.0	38.0	32.7	32.3	31.8	C		